

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

変形性股関節症に対する Autologous Protein Solution 治療成績の検討に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日 から 2025 年 1 月 1 日 までの間に、当院の整形外科で変形性股関節症についての Autologous Protein Solution (APS) の治療を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2026 年 4 月 1 日 まで

25,325

3. 研究目的・方法

目的: APS 治療とは患者さんの血液から組織修復因子を多く含む血小板成分を抽出し、関節内に注射する自費診療です。外来通院中の変形性股関節症に対し APS 治療を受けた患者さんにおける、治療内容、治療経過を検討するために、外来通院中の変形性股関節症に対し APS 治療を受けた患者さんを対象とした情報を統合することで、患者さんの治療や治療経過の実態の把握を行います。

方法: この研究に使用する情報として、診療情報から項目 4 に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 情報：診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、検査結果、画像診断結果、治療前後アンケート結果（日本整形外科学会股関節疾患評価質問票：股関節の疼痛、日常生活動作などを評価するアンケートです）
- ・ 試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、再度、倫理審査での審査を受ける。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）

研究責任者 整形外科 鵜養 拓

問い合わせ担当者 整形外科 鵜養 拓